

御成町諏訪神社の由来

2024 年 7 月 18 日改訂



御成町の諏訪神社は鎌倉検定公式ブックにも掲載されていない無名で小さな神社ですが、実は由緒ある神社であることがわかりました。

現在、諏訪大社を総本社とした諏訪神社は全国に1万余社 (やしろ) ※ (1) ありとされています。鎌倉時代に諏訪大社の神官でもあった諏訪盛重が奉遷したのがこの御成町の諏訪神社とされています。

当時はかなり大きな神社だったと思われます。

1333 年、鎌倉幕府滅亡。多くの家臣が裏切るなかで諏訪頼重が執権・北条高時の子である北条時行 ※ (2) をつれて諏訪国に逃げました。その後、北条時行は 3 度の鎌倉攻めで短い間でしたが鎌倉を奪還しました。北条時行と諏訪一族は大きな相手に何度も挑む姿は、まるで諏訪の祭神である建御名方神を彷彿させます。

※ (1) 諏訪神社の数は 5000 とも 25000 (Wikipedia) ともされています。

※ (2) 北条高時の嫡子 (嫡男、長男) は、北条邦時ですが、伊豆山に逃げる途中で寝返った御家人に捕まり鎌倉の近くで処刑 (1333 年) されました。残された北条家唯一の子が時行です

－鎌倉市御成町の諏訪神社まとめ－

【概要】

諏訪神社は鎌倉時代に有力御家人であった諏訪盛重（すわしげもり）の屋敷内に守護神として祀られていました。盛重は武士と同時に神官でもあり諏訪一族が治めていた信濃国諏訪郡（現在の長野県諏訪市）からこの神社を勧請しました。

祭神は武人神である建御名方神（たけみなかたのかみ）です。

武運長久・五穀豊穰・国土安穏・盛業繁栄などのご利益があるとされています。

諏訪神社は、1969 年（昭和 44 年）に鎌倉市役所の新築工事に伴って現在の場所に移転されました。元々あった場所には諏訪ノ森と諏訪池がありましたが、埋め立てられ今は市役所の駐車場になっています。

諏訪神社の場所は、鎌倉駅西口から徒歩約 5 分で、市役所斜め向かい側で商工会議所の隣の場所にあります。境内には御成町末広自治会の建物があります。

また、特徴的な形をした狛犬が鎮座しています。頭が大きく二頭身の姿で迫力と可愛さを兼ね備えています。

【もう少し詳しく】

諏訪神社は鎌倉に 2 カ所あり、この神社は鎌倉市役所向かい商工会議所のお隣の御成町末広自治会館敷地内にあります。

もう一方は植木小学校隣の北条早雲ゆかりの諏訪神社です。

ともに建御名方神を祀っており、長野県諏訪市にある諏訪大社系列の神社です。

この諏訪神社は鎌倉幕府の歴代執権に仕えた御家人であり神官の諏訪盛重（すわもりしげ）の邸内に武運長久の守護神として祀られていました。

文献がないのであくまでも推測ですが、当時はかなり大きな社（やしろ）だったと思われます。

つまり信濃国諏訪地方の領主であり、また諏訪大社の神官である諏訪氏が、大社のご祭神を鎌倉に勧請して敷地内に祀ったのが始まりとされています。

諏訪一族が去った後、諏訪神社は地元の人々により細々と守られてきました。江戸時代には地元の鎮守として「諏訪稻荷神社」が再興されました。

1899 年（明治 32 年）に大正天皇御用邸が新設されたおりに、敷地内には諏訪神社が含まれ皇族の方々が参拝されたそうです。

祭日には地元の人々の参拝も許されていました。諏訪小道という木々に囲まれた参道もあり地元の鎮守様として大切にされてきました。

1931 年 (昭和 6 年) 8 月 10 日に鎌倉御用邸が廃止され、その敷地が鎌倉郡鎌倉町 (現在の鎌倉市) へ払い下げられました。

この御用邸跡地に鎌倉町は 1933 年 (昭和 8 年) 12 月に小学校を建設し鎌倉郡立御成尋常高等小学校(現在の御成小学校)となりました。

しかし、敗戦後 GHQ の軍国主義排除による「神社令」により諏訪神社は小学校から仮宮として鎌倉駅西口そばの空き地 (※現在はホテルニューカマクラ) に移されました。

1947 年 (昭和 22 年) 御成中学校が御用邸敷地内に建てられ小学校とともに多くの子ども達が通学していました。

その後、禁止令がとかれ駅前の仮宮から諏訪神社は諏訪ノ森がある元の場所にもどりました。



当時、神社は鎌倉市を見渡せるように東に向いていました。

現在の市役所駐車場のあたりにあった諏訪池は、形が諏訪一族の故郷である諏訪湖に似ていたからだそうです。さまざまな水草が茂り、ザリガニやフナやコイが泳いでいました。

御成山から続く諏訪ノ森や諏訪池は、御成小学校校歌にも「池水清き諏訪の森」(佐佐木信綱 作詞)とうたわれました。

子ども達にとっては釣りやザリガニ取りの格好の遊び場でした。

しかし、若宮大路沿いの大巧寺の隣 (現在の鎌倉生涯学習センター) にあった鎌倉市役所が 1962 年 (昭和 37 年) に焼失し、1969 年 (昭和 44 年) 鎌倉市役所新庁舎の建設が起工されました。

それにもない諏訪神社は再び移動※(1)を余儀なくされ、現在の商工会議所の隣りで"御成町末広自治会館"の敷地内※(2)に移築されました。

※(1)『鎌倉近現代史年表稿』のによると 1968 年 (昭和 43 年 3 月 29 日) に「諏訪神社 (御成町17-29) の転座入魂式を行う」とあります。

※(2) それまでは簡易裁判所がありました。市役所通りができる前はこの簡易裁判所で道は行き止まりで、崖になっていました。佐助までは由比ヶ浜まで出て遠回りして行きました。

【ご祭神】

建御名方神 (たけみなかたのかみ)

平安、鎌倉時代に武神としての信仰が広がりました。

かの武田信玄も崇拝した武人の神様です。戦いの神だけではなく水神・農耕・開拓や国土繁栄の神でもあります。

建御名方神は、日本神話の中で父神は大国主 (オオクニヌシ) 母神は沼河比売 (ヌナカワヒメ) の息子として登場する神様です。

建御名方神は誰もが恐れおののいて挑戦しない建御雷神 (たけみかずち) という強力な神様と果敢にも力比べをしましたが、幾度の挑戦の末に負けてしまいました。その後、信濃の諏訪湖に帰り、そこで二度と出ないと誓いました。

その名前の語源は「水の方 (みずのかた)」や「水滲 (みなかた)」であり、諏訪湖の水神を指すという説があります。

現在では、長野県の諏訪大社の主祭神としてまつられています。

ちなみに建御名方神の妃神 (きしん) は八坂刀売神 (やさかとめのかみ) で諏訪下社に祀られています。諏訪湖の御神渡り (寒冬期に諏訪湖が全面凍結してひびが入る) は建御名方神が妃神に会いに行くためにできた跡だという言い伝えがあります。

建御名方神の武勇、軍神としての名声は平安時代にはすでに広まっていた。延暦2年 (783年) 2月、坂上田村麻呂が奥州征討に向かう途中、諏訪大社に参拝し戦勝を祈願して戦場に向かいます。すると、諏訪の神の化身兵が参陣し敵を打ち破ったとされます。さらに、その信仰が一層高まったのは鎌倉時代には、元寇のとき龍神として示現し大いに神威を発揮したと伝わります。

鎌倉幕府を中心とする武家社会で軍神として信仰されていたかがうかがえます。

諏訪大社下社の山宮「御射山社」がある霧ヶ峰高原の八島湿原では、鎌倉時代に建御名方神に奉納する武術競技大会が行われていたそうです。

武神としての姿は神威を高め、信仰を広めることに大いに役立ちましたが、それはあくまで一面であり、鎌倉幕府が滅びた後は建御名方神 (諏訪神) を支えてきたのは農民を中心とする庶民の信仰でした。

<御利益>

武運長久・五穀豊穰・国土安穏・盛業繁栄・交通安全・開運長寿

【諏訪神社の例祭】

8 月 1 日宵宮祭

8 月 2 日（金曜日）例大祭 午後 3 時から

神前祭は 8 月 2 日(八幡様宮司による祭儀)



【諏訪神社の由来】

諏訪神社は、長野県諏訪※(3)にある諏訪大社を総本社とする神社で、全国に約 25,000 社あります。独特の諏訪信仰は日本全国で信仰されており、諏訪大社の祭神は建御名方神と八坂刀売神です。諏訪神社では薙鎌(なぎがま)※(4)に神霊が移され、これを神体としています。また、諏訪神社は狩猟・漁業を守護する神社としても崇拝されています。平安時代から続く「御柱祭」も有名です。

この小さな神社は諏訪大社(下社の可能性)から直々の分霊社であります。

※(3) 注釈 縄文海進

信州諏訪地方には硬質で切れ味に優れた黒曜石(石器とやじりの材料)が大量に産出されました。それを求めて縄文人らが日本全国から諏訪を目指しました。

また、19000年頃から始まった温暖化による海面上昇により関東地方が水没し、縄文部族達が静岡糸魚川構造線(フォッサマグナ)を通して諏訪地方を目指しました。

その結果、独自の信仰が諏訪地方に生まれたとされています。

※(4) 薙鎌

薙鎌(なぎがま)は、長さ約 210 cm の円柱の木棒を柄とし、刃を手前にした短い直刀を柄の先端に直角に取り付けた武器です。薙ぐ、突く、切る、刃を引っ掛けて相手を倒します。また、また、「なぎ」が「凧」に通じることから風雨鎮護、諸難薙ぎ祓うの意味ともいわれています。

【御成町諏訪神社の歴史的推移】

諏訪氏は現在の御成町(旧大町)一帯にかけての所領を有し、このあたりは船が入るほどの大きな水路があったと言い伝えられています。

敷地内に故郷を思っか諏訪湖に形が似た池を造ったと言い伝えられています。※
注意) 歴史文献なし

1899 年(明治 32 年)に大正天皇の御用邸(現在の御成小学校)が建てられた際に敷地内に含まれ皇族方も参拝されたそうです。

戦後、GHQ に命により神社参拝が禁止され、鎌倉駅西口そばの空き地 (現在のホテルニュー鎌倉・以前は産婦人科病院) に移されました。

末広町と蔵屋敷(現在の御成町)のご尽力により 1953 年(昭和 28 年)に元の諏訪ノ森に奉遷(ほうせん)されました。

この際に社殿は鎌倉の町安泰を望むようにと東側に向けられました。

市役所通りのトンネルはまだ開通していなかったもので、諏訪神社や諏訪ノ森、西側の御成山付近は緑あふれる場所で、さらに山中にはどこに出るのかもわからない洞窟が 2 カ所あり子ども達の冒険の場所でもありました。

しかし、1969 年(昭和 44 年)市役所新庁舎建築にともない諏訪池は埋め立てられ、御成中学校とともに神社も移転を余儀なくされました

場所は商工会議所のとなりで簡易裁判所があった跡地に移転し現在に至ります。神社の方位は東向きから南向きに変わりました。

【諏訪神社の民話言い伝え】

諏訪神社と葉山の桂戸神社(森戸神社)は夫婦の神社とされていました。

それぞれの神社のお祭りは同じ日に行われ、諏訪神社から白い鳩が飛んで桂戸神社まで行っていました。しかし、ある年のお祭りの日に鳩が猟師に射られ、力尽きて死んでしまい、以来、諏訪神社の鳩はいなくなったそうです。

以下:「かまくらむかしばなし」沢寿郎著作 1975 年(昭和 50 年)初版 かまくら春秋社
引用<原文>P120



『諏訪神社の鳩』

※原文ママ

むかしの「諏訪地」(諏訪氏の邸址と言われていました)、いま市役所の駐車場になっているところにあった諏訪神社はいま商工会議所の隣りに移されています。

ここの諏訪神社と葉山の桂戸神社とは夫婦の社と言い伝えられ、杜戸が男神、諏訪が女神とされていたものだそうです。そのためこの二つの神社のお祭りは同じ日(九月八日)に行われていました。ただし、同じ日ではあっても諏訪地は朝祭り、杜戸は夜祭りということになっていたと言います。

また、不思議なことにそのお祭りの日には、かならず諏訪神社の森から一羽の白い鳩が飛びたって杜戸のお宮まで行ったものだそうです。その鳩はお諏訪さまの変身だとも、また神さまのお使いだとも言われていました。

いつのころのことかわかりませんが、或る年のお祭りの日、いつものように白い鳩は諏訪

の森を飛びたち空高く舞いあがると、葉山をさして飛んで行きました。

どの辺まで 飛んで行った時でしょう、猟師が神さまの鳩とも知らず、それを射ちました。鳩は腹の あたりを射抜かれ、白い羽毛を真赤に血で染め、石のように落ちて来ました。しかし、地べたまでは落ちないで力いっぱい羽ばたきして目ざす方へ飛びつづけました。

口血を滴らせながら杜戸のお宮へたどりつくと、力もつきはてて死んでしまいました。それから後はどうなったのか、詳しいことは伝っていませんが、とにかくそれ以来、お諏訪さまの鳩はいなくなってしまったということです。

【諏訪盛重(すわしげもり)】

諏訪氏といえば、信濃国の諏訪大社の祠官で、諏訪の領主として古代から明治初年に至る氏族として知られています。

鎌倉時代には、諏訪盛重が承久の乱後、家督を握る北条泰時など直属家臣の筆頭として権力を振るい、以後、諏訪一族は鎌倉幕府で大きな力を持つようになりました。しかし、忠臣であった足利高氏(後の足利尊氏)の謀反によって新田義貞も鎌倉に攻め入り 1333 年ついに鎌倉幕府が滅亡します。最後の執権北条高時とその一族も自害しました。

そのとき諏訪頼重(よりしげ)の幼子であった高時の嫡子北条時行(ときゆき)をつれ信濃国諏訪郡に逃亡しました。その後、北条時行は軍勢を従え度々、鎌倉に攻め入りました。多くの家臣が裏切る中で諏訪一族は最後まで北条家に仕えていました。

【諏訪神社の狛犬(こまいぬ)】

諏訪神社の境内には、特徴的な形をした狛犬があります

口の中が赤い狛犬は、朱塗りと呼ばれる赤い色で塗られていることが多いです。

朱塗りは、魔除けや厄除けの効果があるとされており、神社や寺院の建物や神具などにも用いられています。朱塗りは、日本古来の伝統色であり、日本人にとって親しみやすく目立つ色でもあります。

口の中が赤い狛犬は、阿形(あぎょう)と呼ばれる口を開けた方の狛犬であることが多いです。阿形は、「あ」の字に似ていることから名付けられており、吐く息や発声を表しています。阿形は、邪気や災厄を吐き出して神域を清める役割を持っているとされています。口の中が赤い狛犬は、玉をくわえていることがあります。玉は、宝珠(ほうじゅ)と呼ばれる仏教の象徴的な宝物であり、願い事が叶う力や無限の知恵や慈悲を持つ力を表しています。玉をくわえた狛犬は、福德や幸運を招き入れる役割を持っているとき

れています。以上のことから、口の中が赤い神社の狛犬は、魔除けや厄除け、邪気払いや福德招来などの意味を持っていることがわかります。



【諏訪神社・諏訪の森】 ※「鎌倉御成町いまむかし」一部転載

鎌倉商工会議所西隣にある諏訪神社は、かつては御成小学校と鎌倉市役所のある一帯に広がっていた諏訪の森に祀られていました。

このあたりは、鎌倉時代、北条義時・泰時・時頼三代に仕えた御家人、諏訪盛重の屋敷があったところといわれ、神社はこの屋敷の邸内守護神として祀られていたと伝えられます。

明治三十二年(1899)に御用邸が建てられる際、諏訪神社は御用邸の敷地内に含まれることとなり、以後、各皇族方がたびたび御拝礼されました。関東大震災後、御用邸の敷地が鎌倉町に払い下げとなり、昭和八年(1933)、この地に御成尋常高等小学校(現・御成小学校)が開校、学校の敷地内にそのまま祀られることとなりました。神社の南にあった諏訪池(現在の市役所駐車場のあたり)の名は、形が諏訪湖に似ていたからだそうで、さまざまな水草が茂り、フナやコイが泳いでいました。

御成山から続く諏訪の森や諏訪池は、御成小学校校歌にも「池水清き諏訪の森」(佐佐木信綱作詞)とう敗戦により、学校での神社崇拝が禁じられ、神社を他の地に移さなくてはならなくなったため、地元末広町が社殿及び祭具一式を無償で譲り受け、末広町公会堂の空き地(現・ホテルニューカマクラ隣)に仮安置し祀りました。そして昭和二十八年、元の諏訪の森に還元し、末広町と蔵屋敷の二つの町の鎮守として祀ることになり、

翌二十九年五月、氏子総代、松岡勝次郎、小宮新吉、佐藤雅邦、廣田芳松、磯野茂雄等により、遷宮及び竣奉告祭が盛大に執り行われました。この時、社殿は町内をの

ぞむように東に向けて建てられ、諏訪池とともに広く市民から親しまれることとなりました。御成通りなかほどの風致保存会の建物(旧・安保小児科医院)のある角から佐藤病院の裏を通り、現在の鎌陽洞ビルの横から神社に至る道は、古くから「諏訪小路」と呼ばれていました。しかし、昭和四十四年、鎌倉市役所新庁舎の建設に伴い、再度、社殿を移転しなくてはならなくなり、簡易裁判所があった現在の地（鎌倉商工会議所）に遷宮され今に至っています。

【参考文献】

「鎌倉御成町いまむかし」編集委員会編 2008/1/31

「吾妻鏡」鎌倉図書館蔵書

Wikipedia「諏訪盛重」

「かまくらむかしばなし」沢寿郎著 かまくら春秋社 1979 年版

「鎌倉子ども風土記」鎌倉教育委員会

鎌倉の神社小事典 神奈川県のご不思議事典... その他



諏訪池にあった昔の諏訪神社
鎌倉中央図書館所蔵・掲載許可済

【昔の諏訪神社関連写真】



＜1980 年代に諏訪神社の御神輿が子供らによって担がれていました。プラカードには諏訪神社子ども連と書かれています＞



＜諏訪神社の鳥居と諏訪の池＞



＜長野県下諏訪にある諏訪大社と御柱＞

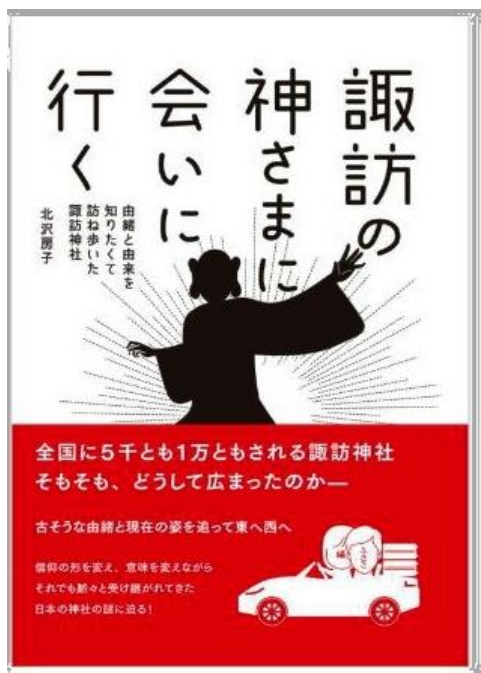
【諏訪神社関連の書籍】



「諏訪の神さまが気になるの」

7 版 (重版中) 北川房子著

今年の 3 月にこの本の続編で諏訪の神様の本が出版されます。その中で御成町の諏訪神社が詳しく紹介されます。

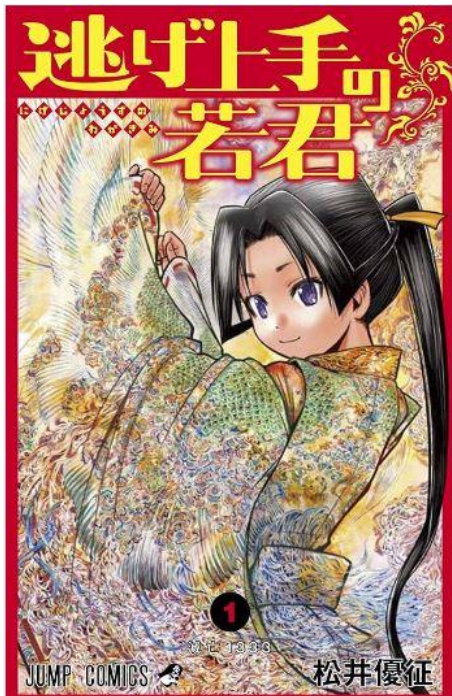


最新版「諏訪の神さまに会いに行く」2024

年 5 月出版 北川房子著

“諏訪の神さま”シリーズ第 2 刊が出版されました。本書の「鎌倉の巻」に 53 ページにわたり我が町の諏訪神社が紹介されています。

。



2024 年 7 月 6 日より毎土曜日
TOKYO MX、BS11 ほか全国 30 局
で放送されます。放送時間は、MBS
が毎週土曜 26 時 08 分、愛媛朝日
テレビが毎週水曜 25 時 50 分、RSK
山陽放送、広島テレビ、テレビ山口
が毎週木曜 25 時 55 分、25 時 59
分、26 時 00 分です。

最後の執権北条高時の嫡子、北条時行と諏訪大社
神官である諏訪頼重の物語。

「逃げ上手の若君」公式サイト

<https://nigewaka.run/> 全 9 巻

今年 T V で放映予定。人気があります。

※以下上記サイトから。

は西暦 1333 年、武士による日本統治の礎を築い
た鎌倉幕府は、信頼していた幕臣・足利高氏の謀
反によって滅亡する。全てを失い、絶望の淵へと
叩き落とされた幕府の正統後継者・北条時行は、
神を名乗る神官・諏訪頼重の手引きで燃え落ちる
鎌倉を脱出するのだった……。

逃げ落ちてたどり着いた諏訪の地で、

信頼できる仲間と出会い、鎌倉奪還の力を蓄えて
いく時行。

時代が移ろう大きなうねりを、「戦って」「死ぬ」
武士の生き様とは反対に

「逃げて」「生きる」ことで乗り越えていく。英雄
ひしめく乱世で繰り広げられる、
時行の天下を取り戻す鬼ごっこの行方は――。